



平成20年12月定例会

大館市議会会議録（第6号）

自 平成20年12月2日 開会
至 平成20年12月18日 閉会

大 館 市 議 会

12月2日（火曜日）

第1日目

平成20年12月2日（火曜日）

議事日程第1号

平成20年12月2日（火曜日）

○人事異動報告（当局）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の上程

1. 議案第125号 大館市手数料条例の一部を改正する条例案
2. 議案第126号 大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
3. 議案第127号 大館スカイパーキングに関する条例の一部を改正する条例案
4. 議案第128号 大館市二井田市民集会所に関する条例の一部を改正する条例案
5. 議案第129号 大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案
6. 議案第130号 大館市農林業多目的研修集会施設等に関する条例の一部を改正する条例案
7. 議案第131号 大館市公民館条例及び大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案
8. 議案第132号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案
9. 議案第133号 旧慣使用権の廃止について（根下戸町地内）
10. 議案第134号 大館市農林水産物直売施設の指定管理者の指定について
11. 議案第135号 市道路線の廃止について（神山花岡停車場線）
12. 議案第136号 市道路線の認定について（堤沢神山線外3路線）
13. 議案第137号 平成20年度大館市一般会計補正予算（第4号）案
14. 議案第138号 平成20年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案

15. 議案第139号 平成20年度大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案
16. 議案第140号 平成20年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）案
17. 議案第141号 平成20年度大館市小規模水道事業特別会計補正予算（第3号）案
18. 議案第142号 平成20年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第1号）案
19. 議案第143号 平成20年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案
20. 議案第144号 平成20年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案
21. 議案第145号 平成20年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第3号）案
22. 議案第146号 平成20年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案
23. 議案第147号 平成20年度大館市水道事業会計補正予算（第3号）案
24. 議案第148号 平成20年度大館市下水道事業会計補正予算（第2号）案
25. 議案第149号 平成20年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案

出席議員（29名）

1番	小棚木 政之君	2番	武田 晋君
3番	佐藤 照雄君	4番	小畑 淳君
5番	佐藤 一秀君	6番	中村 弘美君
7番	畠 沢 一郎君	8番	伊藤 毅君
9番	藤原 明君	10番	千葉 倉男君
11番	佐藤 久勝君	12番	仲沢 誠也君
14番	石田 雅男君	15番	虻川 久崇君
16番	藤原 美佐保君	17番	笹島 愛子君
18番	明石 宏康君	19番	吉原 正君
20番	佐々木 公司君	21番	武田 一俊君
22番	安部 貞榮君	23番	八木橋 雅孝君
24番	田中 耕太郎君	25番	田畑 稔君
26番	富樫 安民君	27番	相馬 エミ子君
28番	高橋 松治君	29番	奥村 隆俊君
30番	斉藤 則幸君		

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

説明のため出席した者

市	長	小 畑	元 君
副 市	長	長 岐 利	堅 君
副 市	長	吉 田 光	明 君
総 務 部	長	齋 藤	誠 君
総 務 課	長	長谷川	文 悦 君
防 災 対 策 室 長 補 佐		大 黒 文	平 君
財 政 課	長	大 友 隆	彦 君
市 民 部	長	花 田 鉄	男 君
産 業 部	長	中 山 吉	行 君
建 設 部	長	近江屋	和 男 君
比 内 総 合 支 所 長		仲 谷 正	一 君
会 計 管 理 者		本 間	勲 君
病 院 事 業 管 理 者		佐々木	睦 男 君
市立総合病院事務局長		小 林 雪	夫 君
消 防	長	菅 原 博	昭 君
教 育	長	仲 澤 鋭	藏 君
教 育 次 長		齋 藤 貢	一 君
選挙管理委員会事務局長		伊 藤 哲	雄 君
農業委員会事務局長		奈 良 明	彦 君
監 査 委 員 事 務 局 長		松 江 正	和 君

事務局職員出席者

事 務 局	長	本 多 和	幸 君
次	長	長 崎 憲	昭 君
係	長	小 玉	均 君
主	査	畠 沢 昌	人 君
主	任	金	一 智 君
主	任	佐々木	仁 君

午前10時1分 開 会

- 議長（虹川久崇君） これより、平成20年12月大館市議会定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、お手元に配付してあります文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（虹川久崇君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、8番 伊藤毅君、9番 藤原明君、10番 千葉倉男君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（虹川久崇君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から12月18日までの17日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（虹川久崇君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付してあります日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案の上程

- 議長（虹川久崇君） 日程第3、議案の上程を行います。
議案第125号から同第149号までの、以上25件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 12月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、9月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、高等教育機関との連携協定について。

地域や近隣に立地する高等教育機関と連携し、人的資源の活用や医療福祉・ものづくりなどの分野における交流を行うことにより少子高齢化等に伴う地方の閉塞感を払拭したいとの期待

のもと、10月24日に秋田大学と、同月30日には秋田看護福祉大学及び秋田職業能力開発短期大学校と連携協定を締結いたしました。これにより、これまで断片的であった官と学の連携を不断かつ多様なものにするとともに、共同研究・教育支援のほか、産業の高度化や、より充実した医療福祉など、市単独ではなし得ない成果につなげたいと考えております。今後、弘前大学など、他の高等教育機関等との連携も視野に入れ、より広範に新たなまちづくりの芽をはぐくんでまいります。

2、大館市バイオマスタウン構想の策定状況について。

国では、バイオマスの積極的な活用を図っていこうとする自治体を支援するため、平成22年度までに全国300市町村をバイオマスタウンに認定する計画であります。本市では、これまでも独自にバイオマスの活用を図っておりましたが、これらを集約しながら全庁的により効率的な展開を図るべくバイオマス構想を策定し、国の認定を目指すことといたしました。本年8月に職員による策定委員会・専門部会を立ち上げ、このほど素案がまとまりましたので、今後は有識者で構成する市民懇談会において実効性などを検討していただき、3月定例会には原案をお示しできるものと考えており、来年6月ころの認定を目指してまいります。

3、敬老事業について。

市では、高齢者の方々の長寿と健康をお祝いするため、8月30日から約1カ月にわたり市内16会場で敬老会を開催いたしました。本年度の敬老会には対象者9,685人のうち3,139人の参加があり、参加率は32.4%で昨年と比べて若干低下しております。ことしは、大館地域についても比内・田代地域と同様、はがきの送付にかえて戸別に開催の御案内をしたところ、申込先等について一部混乱が生じ、参加者の取りまとめに御協力いただいた婦人会や町内会などの皆様には大変な御苦勞をおかけいたしました。来年の実施に当たりましては、地域の実情に合った方法を再検討してまいりたいと考えております。また、11月21日には金婚式を開催し結婚して50年を迎えた38組の御夫妻をお祝いしたところではありますが、この事業も参加者が年々減少しておりますことから、今後は、より多くの皆様に参加していただけるよう改善してまいりたいと考えております。

4、雇用情勢について。

市内の高校における来春卒業予定の就職希望者数は、10月末現在236人で、そのうち半数の118人が県内就職を希望しております。内定率につきましては、県外希望者が94.1%、県内希望者が78.0%、全体では86.0%で昨年同期とほぼ同率となっており、ハローワーク管内別では鹿角管内に続き県内2番目の高さであります。今後も関係機関と連携しながら100%を目指してまいります。次に、工場等設置促進条例に基づく指定工場の従業員数は、10月1日現在、60事業所で4,294人となっており、ニプログループによる継続的な設備投資とそれに伴う雇用の拡大などが要因となり、昨年同期と比べ166人増加しております。さらに、11月1日には白金運輸株式会社東北配送事業部大館営業所・大館配送センターが新規雇用5人で操業を開始し、

株式会社フレッシュシステムでも来年3月の操業開始を目指して建設工事を進めており、今後計画されている他の指定工場の中途採用も含めると80人ほどの雇用増加が見込まれております。一方、円高、株価の低迷など社会を取り巻く経済情勢が厳しさを増す中で、本市においても企業倒産等が相次いでおり、民事再生手続を進めている株式会社日本オート技研工業秋田工場では全従業員152人を11月7日に解雇し、同月9日付で72人を再雇用しました。同社では、離職された方について、業績の回復状況等に応じて優先的に再雇用する計画であるとうかがっております。

5、緊急雇用・経済対策関連事業について。

企業倒産が相次ぐ状況を踏まえ、市では7月に緊急雇用対策会議を設置し、さまざまな雇用の場の創出について検討を重ねてきたところであります。その中で、緊急雇用・経済対策事業として市内小・中学校の各種修繕を前倒しで行うこととし、また、土木や福祉に係る市の業務において、離職者を対象とした緊急的な短期雇用を予定しております。これらの対策については、合わせて1,200万円ほどの関連予算案を本定例会に提出しておりますので、よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。今後も、緊急雇用・経済対策事業として老朽化が著しく既に用途を廃止している公共施設の解体を予算化するなど、緊急的な対策を講じてまいりたいと考えております。

6、全国ポリテクカレッジ所在自治体協議会の結成について。

職業能力開発大学校及び同短期大学校、いわゆるポリテクカレッジは、独立行政法人雇用・能力開発機構のもとで設置・運営されておりますが、政府はこの法人の存廃検討を閣議決定し、ポリテクカレッジを段階的に県または民間に移管する方針を打ち出しております。現在、全国に22校あるポリテクカレッジは一体的かつ効率的に運営されていると認識しており、仮にこれらが国に比べて財政力の弱い地方自治体に分割・移管されると、存続が困難になるおそれがあります。こうしたことから、所在19市町による全国ポリテクカレッジ所在自治体協議会の結成総会を10月29日に開催しました。総会では活動計画を決定し現行体制の堅持を共同宣言するとともに、早速、行政改革担当省庁を初め政党関係者・国会議員に要望活動を行ったところであります。今後も本協議会を中心に現行体制によるポリテクカレッジの存続に向け取り組んでまいりたいと考えておりますので、地域の皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。

7、秋まつり行事等について。

(1)本場大館きりたんぽまつり。

10月11日、12日の両日、第36回本場大館きりたんぽまつりが長木川市民広場で開催され、来場者は2日間で1万8,500人となりました。今回は、新たに「きりたんぽミニ丼」をメニューに加え、好評を得たところであります。

(2)五色湖まつり。

紅葉シーズンのイベントとして、また、大鰐町との交流の場として定着している第17回五色

湖まつりが、10月12日、山瀬ダム多目的運動広場において開催され、2,400人の来場者が秋を満喫しました。

(3)ふるさと会。

10月18日に首都圏大館ふるさと会が、11月9日にはふるさと比内会が、それぞれ都内で開催され、首都圏で活躍されている方々と交流を深めるとともに、本年スタートしたふるさと納税のPRも行ってまいりました。また、今月14日には東京田代会も開催される予定となっております。来年は、この3つのふるさと会が合同で開催される予定となっております、ふるさと会の皆様には今後も本市の発展に御支援・御協力をお願いしてまいりたいと思っております。

(4)大館圏域産業祭。

10月25日、26日の2日間にわたり、第11回大館圏域産業祭が大館樹海ドームを会場に開催されました。新企画として、秋田職業能力開発短期大学校を中心に市内の小・中学校、高校、専門学校が取り組んだ産業教育展ワンダフルジョブワールドが好評を得るなど、県内外から5万2,000人の入場者でにぎわいました。

(5)本場大館きりたんぽまつり in 渋谷。

11月2日、3日の両日、渋谷区民祭において本場大館きりたんぽまつり in 渋谷を開催しました。大館の食と物産は好評を博し、昨年以上の盛り上がりを見せました。比内地鶏偽装問題による影響も徐々に少なくなっていると感じておりますが、以前の信頼を取り戻すため、引き続きPRに努めてまいりたいと考えております。

8、平成20年の農業について。

平均気温や日照時間が平年より好条件で推移したことにより、農作物の生育状況はおおむね良好となりました。水稻につきましては、東北農政局が10月30日に公表した作況指数が県北で103、全県で105、全国で102となり、豊作による過剰米を区分出荷する集荷円滑化対策が発動されました。政府では、この対策により区分出荷された20年産米の豊作分について、備蓄用の政府米として実勢価格で買い入れる方針を発表しております。また、JAあきた北管内の1等米比率は10月31日現在で93.3%となっており、昨年より1.5ポイントほど高くなっております。次に野菜であります。山の芋は、品質は平年並みですが、小玉傾向のため収穫量は減少しております。10月29日から出荷が開始されましたが、市場価格が例年の半額程度と低迷しており、販売額の減少が見込まれることから首都圏等での販売促進活動を強化しております。アスパラガスは、病害虫による被害もほとんどなく品質・量とも昨年を上回ったものの、豊作がゆえに夏場の価格が低迷し、販売額は昨年を若干下回る結果となりました。次に、果樹であります。収量は平年並みからやや少ない程度でしたが、中山・曲田地区を中心とした6月14日の降ひょうの影響でリンゴやナシに品質の低下が見られ、販売額は大幅に減少する結果となりました。また、10月26日には早口地区において収穫目前のリンゴの主力品種が降ひょうの被害を受けており、品質の低下による販売額の減少が懸念される状況となっております。

9、大町住宅建てかえ事業について。

事業主体となる大館都市開発株式会社では地権者7名の総意による施行依頼を受け、11月17日、国に対し補助金の交付申請を行っており、本年度内に再生事業計画を立案する予定であります。これまでの案では戸数を24戸としておりましたが、間取りのバリエーションを工夫するなど戸数をふやし、低コストで魅力ある住宅の建設プランをできるだけ早く議会にお示しいたいと考えております。今後の予定は、来年度解体工事等のハード事業に着手し、平成22年度内に建設工事を終え、23年度当初から供用を開始する見込みであります。市としましては、この事業により、まちなか居住に弾みをつけ、中心市街地の活性化を図ってまいりたいと考えております。

10、住宅マスタープランの見直しについて。

市では、平成15年に策定した住宅マスタープランについて、合併後の新市における住宅施策を反映させるためプランの見直し作業に取り組んでいるところであります。見直しに当たりましては、協議機関として建築の専門家などで組織する策定委員会を設置し、10月に開催された第1回策定委員会では本市における住環境の現況や課題などを確認しており、年度内に3回開催した後、基本方針をまとめることとしております。また、一般市民や市営住宅入居者2,000人を対象に、住環境に対する要望や本市が推進しているまちなか居住に対する意見などを把握するためのアンケート調査を実施いたしました。現在、アンケート結果を集計中であり、今後、この結果をもとに住宅政策の総合的・長期的な基本方針を住宅マスタープランに盛り込み、より効果的かつ確実な事業の展開を目指してまいりたいと考えております。

11、全国高等学校総合体育大会の開催内定について。

平成23年のインターハイは、秋田・青森・岩手の北東北3県が共同開催することとなり、本市は女子ソフトテニスの開催地に選ばれました。大会規模は、昨年行われた秋田わか杉国体の1.5倍程度で、選手・役員合わせて1,500人ほどが本市を訪れるものと見込んでおります。市では、年明けに事務局をスタートさせ、国体時のノウハウを生かしながら成功に向けて取り組んでいくこととしており、関連予算案を本定例会に提出しておりますので、よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。

12、比内公民館等の業務開始について。

本年4月から始めた比内公民館改修工事が今月下旬に完了いたします。年末から引っ越し作業を行い、公民館と図書館の業務は1月15日から開始いたしますが、調理室や研修室の一部につきましては、備品の搬入等が終了次第、順次供用を開始する予定としております。なお、引っ越しに伴い、比内総合支所での図書館業務は18日で終了させていただきます。今後は、比内町郷土民俗資料館の展示作業等を行い来年4月のオープンを予定しており、また、公民館体育館につきましては、来年度の改修を目指してまいります。

13、総合病院駐車場工事の進捗状況について。

総合病院増改築工事に伴い駐車場が不足しており、市民の皆様に御不便をおかけして大変申しわけなく思っております。駐車場の整備につきましては、東側駐車場の一部を除き今月19日までに完了する予定であり、22日から完成した駐車場を開放し国道7号側出入り口を正面玄関としてオープンさせる予定であります。また、バスの乗り入れについても早期に実施できるよう関係機関と協議しているところであります。なお、放射線がん治療機器を設置するライナック棟の建設工事のために大型重機が出入りすることから、東側駐車場の一部につきましては舗装工事の工期を3月下旬まで延長する予定としております。3月末の全面完成後には、カーゲートを設置して機械管理とし、有料駐車場にする計画であります。外来患者さん等は無料にしたいと考えております。駐車料金等細部については現在検討中であり、まとめ次第、議会に御報告申し上げたいと思っております。

14、公共事業の進捗状況について。

主な事業の進捗状況を道路関連から申し上げますと、有浦東台線につきましては、舗装工事・歩道整備、街灯の設置等、仕上げの段階であり、年度内の完工となります。このほか、葛原橋上部工補修、岩瀬山田線歩道設置も年度内に完成予定であり、比立内線道路改良事業は本年度事業の進捗率が95%となっております。また、扇田地区まちづくり事業では、都市計画道路の築造や多目的広場の整備などを実施し進捗率は75%となっております。次に、施設整備についてであります。本庁舎暖房用ボイラー棟の改修につきましては、10月中に2階部分の撤去工事が、また、11月下旬には既存煙突の取り壊しが完了し、現在、屋根のかけかえと財政課側外壁補修工事に関する入札を準備中であります。これらと並行し、ボイラー本体については納入業者側で安全性の向上とペレット燃料タイプへの改造作業を実施しており、今月中には試運転できる見通しとなっております。また、比内ベニヤマ荘への木質ボイラー導入事業は9月末に竣工しており、家屋解体材を燃料としていることから二酸化炭素の排出が削減されるとともに、石油価格にも左右されず安定的に稼動しております。斎場火葬炉2基の大型化改修工事につきましては、11月上旬に発注済みで年内に完成する予定となっております。学校耐震対策事業につきましては、まず緊急性の高かった田代中学校普通教室棟の部分補強は9月上旬に完了しており、比内中学校管理棟ほか耐震補強工事は7月中旬に発注し、現在の進捗率は95%であります。また、桂城小学校・城南小学校の耐震2次診断業務につきましては、6月上旬に委託発注しており、進捗率は70%で今月中に完了する予定となっております。続いて農業関連では、寺の沢地区の農道改良工事は10月に完成し全線供用開始しております。また、小泉交流センター（仮称）の建設工事は、11月に着工し来年3月中旬に完了する予定となっております。農業集落排水事業では、十二所北、独鈷・中野の両地区で処理施設の建設工事などを施行中であり、本年度事業の進捗率は45%となっております。次に、下水道事業では、大館地域の東台・清水町ほか、比内地域の味噌内、田代地域の赤川で本管理設工事を施行中で、進捗率は平均で40%となっております。水道事業では、老朽管を更新する管路近代化事業を柄沢地内で施行中であ

り、進捗率は80%、また、横岩地区水道未普及地域解消事業及び真中簡易水道災害復旧事業は、いずれも40%の進捗率となっております。なお、農業関連事業・下水道事業・水道事業において申し上げました進捗率が40%程度の工事等につきましても、本年度中に完了する予定となっております。公共事業全体の発注率は、11月末現在、約90%で、昨年度同期に比べ7ポイント上回り、本年度の公共事業投資額は約79億円を見込んでおります。

行政報告は以上であります。御案内を差し上げましたとおり、本年6月の天皇皇后両陛下の行幸啓を記念し、本会議終了後、桂城公園において記念植樹を行いますので、議員各位の御出席をよろしくお願い申し上げます。

続きまして、提出いたしました議案につきまして、主な内容を御説明申し上げます。

議案第125号は、大館市手数料条例の一部を改正する条例案であります。

これは、所得税法の一部改正により後期高齢者医療保険料が社会保険料控除の対象となったことに伴い、当該保険料の納付証明書の交付に係る手数料を条例に規定するとともに、一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第126号は、大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案であります。

これは、分娩に関連して脳性麻痺を発症した子及びその家族の経済的負担の補償等を行う産科医療補償制度が創設され、来年1月から施行されることに伴い、その掛金相当額を出産育児一時金に加算するとともに、葬祭費について他の法律によりこれに相当する給付がある場合には、国民健康保険において重複して支給しない旨を条例に規定しようとするものであります。

議案第127号は、大館スカイパーキングに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館スカイパーキングにつきまして、経費の削減及び利用の促進を図るため、来年4月から自動車を入場させ、または出場させることができる時間等を見直すとともに、駐車料金を改定しようとするものであります。

議案第128号は、大館市二井田市民集会所に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、経済事情の変動等諸般の情勢を勘案し、来年4月から二井田市民集会所の利用料金の上限を改定しようとするものであります。

議案第129号は、大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第128号で御説明申し上げました二井田市民集会所と同様に、来年4月から湯夢湯夢の湯及び休憩室の利用料金の上限を改定しようとするものであります。

議案第130号は、大館市農林業多目的研修集会施設等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、老朽化の著しい比内公民館小泉分館の代替施設として小泉交流センターを新設し、来年4月から供用を開始することに伴い、施設の名称及び位置並びに営利営業を目的として使用する場合の使用料を条例に規定しようとするものであります。

議案第131号は、大館市公民館条例及び大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案であ

ります。

これは、議案第130号で御説明申し上げましたように、比内公民館小泉分館につきまして、施設の老朽化が著しく本来の目的での使用に耐えないことから、これを廃止するため、関係2条例につきまして、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第132号は、大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第126号で御説明申し上げましたように、産科医療補償制度が創設され、来年1月から施行されることに伴い、市立病院において掛金負担が生ずること等から分娩介助料を改定するとともに、人工妊娠中絶料につきまして、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第133号は、旧慣使用権の廃止についてであります。

これは、個人の住宅用地として土地を処分するため、根下戸部落が旧慣使用権を有する土地の旧慣使用権を廃止しようとするものであります。

議案第134号は、大館市農林水産物直売施設の指定管理者の指定についてであります。

これは、本年9月定例会におきまして、指定管理者制度を導入するための条例改正の議決をいただきました大館市農林水産物直売施設につきまして、本市における36施設目の指定管理者として、ゆきさわ産直友の会を指定しようとするものであります。

議案第135号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、市道の幹線見直しに伴い市道路線の起・終点に変更が生じたため、これを廃止しようとするものであります。

議案第136号は、市道路線の認定についてであります。

これは、市道の幹線見直しに伴い起・終点に変更が生じた道路、主要地方道比内田代線改良工事に伴い旧道となる区間、及び大館市開発指導要綱に基づく宅地造成に伴い築造された道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第137号は、平成20年度大館市一般会計補正予算（第4号）案であります。

今回の補正額は1億8,165万1,000円の追加で、補正後の予算総額は296億4,492万7,000円となる見込みであります。

まず、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、地方交付税で1億4,031万2,000円の追加。国庫支出金では、農業施設災害復旧費負担金に408万円を計上し、障害者地域生活支援事業費補助金に144万4,000円を追加。県支出金では、すこやか子育て支援事業費補助金に997万円、農業振興費補助金に農業夢プラン応援事業分として128万5,000円をそれぞれ追加、県からの権限移譲推進交付金に合わせて153万9,000円を追加。財産収入では普通財産立木売払収入に1,330万円を追加。寄附金ではふるさと応援寄附金に16万円を追加。諸収入では雑入に支障木伐採等補償金360万7,000円を追加。市債では農業施設災害復旧事業債に170万円を計上したも

のであります。

次に、歳出の主な内容について申し上げますと、総務費では、庁舎管理費に議事堂女子トイレ増設工事費200万円を計上、企画振興費にふるさと応援寄附基金積立金16万円、財産管理費に分収交付金1,620万5,000円をそれぞれ追加。民生費では、保育園費に臨時保育士等賃金1,500万円、児童措置費にすこやか子育て支援事業費補助金917万7,000円をそれぞれ追加。衛生費では予防接種費にインフルエンザなどの予防接種委託料170万円を追加。農林水産業費では農業振興費に農業夢プラン応援事業費補助金160万6,000円を追加。土木費では住宅管理費に市営住宅修繕料400万円を追加。教育費では、事務局費に非常勤職員等賃金600万円追加、中学校費の施設維持及び改良費に車いすを必要とする生徒に対応して第一中学校にエレベーターを設置するための設計委託料87万8,000円を計上。災害復旧費では農業施設災害復旧費に621万3,000円を計上したものであります。なお、このほかに、石油価格の高騰に伴う各施設及び指定管理料に係る燃料費分として5,272万8,000円、緊急雇用・経済対策事業費として小・中学校の各種修繕や土木・福祉などの関連業務における緊急的な短期雇用措置として合わせて1,184万6,000円をそれぞれ追加しており、また、9月補正以降の人事異動などに伴う人件費の補正として1,187万9,000円を減額しております。

さらに、第2条第2表(1)に清掃業務委託料など合わせて27件の債務負担行為の追加を、同表(2)に平成19年度農業経営基盤強化資金利子助成金に係る債務負担行為の変更を、また、第3条第3表には農業施設災害復旧事業に係る地方債の追加をそれぞれお願いしております。

議案第138号は、平成20年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正額は2億3,423万4,000円の追加で、補正後の予算総額は88億8,150万2,000円となる見込みであります。主な内容としましては、歳入では、国庫支出金に療養給付費等負担金6,630万5,000円、療養給付費等交付金に5,842万2,000円、共同事業交付金に1億526万1,000円をそれぞれ追加し、歳出では、保険給付費に1億8,948万2,000円、共同事業拠出金に1億526万1,000円をそれぞれ追加しております。

議案第139号は、平成20年度大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正額は1,283万2,000円の追加で、補正後の予算総額は68億3,359万4,000円となる見込みであります。主な内容は、歳出で総務費に制度改正に伴う電算システム改修委託料等1,283万2,000円を追加し、歳入では一般会計繰入金に同額を追加しております。

議案第140号は、平成20年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正額は82万2,000円の追加で、補正後の予算総額は5,895万円となる見込みであります。内容は、歳出で総務費に汚泥くみ取り手数料82万2,000円を追加し、歳入では、一般会計繰入金に16万円を追加し、雑入に消費税等還付金66万2,000円を計上しております。

議案第141号は、平成20年度大館市小規模水道事業特別会計補正予算（第3号）案でありま

す。

今回の補正額は55万2,000円の追加で、補正後の予算総額は407万7,000円となる見込みであります。内容は、歳出で総務費に落雷に伴う設備修繕料55万2,000円を追加し、歳入では雑入に災害共済金を同額計上しております。

議案第142号は、平成20年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正は債務負担行為のみの補正でありまして、第1条第1表に医療事務業務委託料に係る債務負担行為の設定をお願いしております。

議案第143号は、平成20年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正額は252万3,000円の追加で、補正後の予算総額は1,076万5,000円となる見込みであります。内容は、歳入で繰越金に252万3,000円を計上し、歳出では、卸売市場費に施設修繕料等57万6,000円、諸支出金の卸売市場施設等整備基金積立金に194万7,000円をそれぞれ追加しております。

議案第144号は、平成20年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正額は488万5,000円の追加で、補正後の予算総額は14億3,142万2,000円となる見込みであります。内容は、歳入で、一般会計繰入金を1,296万3,000円減額し、諸収入に消費税等還付金など1,634万8,000円、市債に農業集落排水事業債150万円をそれぞれ計上し、歳出では農業集落排水費に施設修繕料等488万5,000円を追加しております。

また、第2条第2表に地方債の限度額の変更をお願いしております。

議案第145号は、平成20年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正額は35万8,000円の追加で、補正後の予算総額は2,081万9,000円となる見込みであります。内容は、歳出で温泉経営費に光熱水費等35万8,000円を追加し、歳入では一般会計繰入金に同額を追加しております。

議案第146号は、平成20年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案であります。

内容としましては、片山財産区勘定の補正予算案についてであります。今回の補正額は473万2,000円の追加で、補正後の予算総額は2,224万2,000円となる見込みであります。主な内容は、歳入で、財産収入に土地売払収入29万7,000円、繰越金に423万4,000円をそれぞれ追加し、歳出では総務費に財政調整基金積立金473万4,000円を追加しております。

議案第147号は、平成20年度大館市水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、人事異動に伴う職員給与費等を745万1,000円追加し、営業外の消費税及び地方消費税を62万円減額するもので、補正後の総額は13億3,347万4,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出

であります。収入では繰り上げ償還に伴う借りかえの企業債等を4億9,862万円追加するもので、補正後の総額は8億8,943万6,000円となる見込みであります。また、支出では繰り上げ償還に伴う企業債償還金等を4億9,932万1,000円追加するもので、補正後の総額は13億3,649万3,000円となる見込みであります。この結果、4億4,705万7,000円の資金不足となりますが、これを損益勘定留保資金等で補てんしようとするものであります。

このほか、第4条に企業債の変更及び追加を、第5条に議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきまして、変更をお願いしております。

議案第148号は、平成20年度大館市下水道事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、賃金・修繕費等を130万8,000円追加し、手数料・職員給与費等を240万4,000円減額するもので、補正後の総額は13億5,690万8,000円となる見込みであります。また、減価償却費及び企業債利息の財源に充てるための資本費平準化債及び下水道事業債特別措置分の額につきまして変更をお願いしております。次に、資金的収入及び支出であります。収入では繰り上げ償還に伴う借りかえの企業債等を2億4,210万円追加するもので、補正後の総額は15億4,243万2,000円となる見込みであります。一方、支出では繰り上げ償還に伴う企業債償還金を2億6,044万3,000円追加するもので、補正後の総額は19億5,540万6,000円となる見込みであります。この結果、4億1,297万4,000円の資金不足となりますが、これを損益勘定留保資金で補てんしようとするものであります。

このほか、第4条に企業債、第5条に議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第149号は、平成20年度大館市病院事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入ではその他医業外収益に住宅貸付料424万8,000円を追加するもので、補正後の総額は94億4,740万2,000円となる見込みであります。また、支出では、医業費用の材料費・資産減耗費等を2億3,886万8,000円追加し、医業外費用の支払い利息を3,325万6,000円減額するもので、補正後の総額は103億9,471万円となる見込みであります。次に、資金的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、増改築事業費を1,276万7,000円減額し、企業債償還金を114万7,000円追加するもので、補正後の総額は37億3,061万1,000円となる見込みであります。この結果、4億2,144万5,000円の資金不足となりますが、これを損益勘定留保資金で補てんしようとするものであります。

このほか、第4条に債務負担行為の変更をお願いしております。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（虻川久崇君） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（虻川久崇君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（虻川久崇君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、12月8日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時47分 散 会
